

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョブトレーニングスクール		
○保護者評価実施期間	2026年2月28日		～ 2026年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2026年2月28日		～ 2026年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月21日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	対象利用者が中高生の為に、進路や将来的な就労への社会へ出る事への不安が大きくなっている為、情報提供や選択肢等を提供している	近い将来と遠い将来について、本人または保護者の持っている情報を収集し、選択肢として色々な面から情報提供を行っている。より具体的にイメージしてもらうために、学校見学等を企画。保護者・児童が参加して、より先の進路についてイメージしやすくしている	進学先との連携は重要だが、実際の企業等の見学等も取り入れ、将来の仕事へのイメージが具体化するような取組みが必要
2	親と子とのかわり方について、ペアレントトレーニングを行っている	家族支援相談等では障害特性などについて分かりやすく説明を行っている。MSPAを根拠とし、より具体的な、子供とのかわり方等を保護者に伝えている。	グループでペアレントトレーニングを強化するなど、保護者同士の子育て等に関する悩みなどを共有できる取組み等を行っていく。
3	障害者の就労支援や生活の支援経験者や若者サポートステーションでの支援経験者により将来的な就労についての情報が多い	就労についてGATB検査の利用により本人に向いている就労先職業選択の為に必要なスキルについて支援を増やすなどの選択肢を提示している	幅広い職業選択の可能性について提示したり、個別支援を通して、就労に必要なスキルについての支援を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNS等で事業所としての情報発信が少なく、公開講座やイベント周知について、紙媒体が多いため、必要な情報が届きにくい。	児童の個人情報の保護を優先しており、HPやSNS等での発信をしていないため	個人情報等を最優先に配慮しつつ、新しい形の情報発信等時代に合わせた事業所広報活動等を通じて、地域に向けた情報発信等を行っていき、身近に感じてもらえるような事業所を目指す
2	保護者との情報共有が頻繁ではないのではないか	自己通所が多く送迎も頻繁でないことが考えられる	保護者へ連絡はLINEを通じて行っているが、気軽に事業所に寄ってもらえるような声掛けやペアレントトレーニング等を活用していく
3			